

データのまとめと分析・資料作成

情報の科学 第25回授業

06アンケート実習

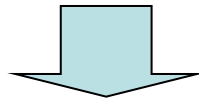
対応データ 15exp21.xls

1. データのまとめ

☆集めたデータは、データベース形式にしておくと、回答ごとの傾向を知る上で便利である。

問1: ①→10人 ②→24人 ③→6人

問2: ①→3人 ②→8人 ③→10人 ④→15人



ID	性別	問1	問2	問3
1	男	1	3	30分くらい
2	男	2	1	1時間
3	女	1	1	

☆集計した用紙の扱いは必ず適切に行うこと！！

2. 分析(グループワーク)

- 以前行った分析手法を思い出し、自分たちの「仮説」を意識しながら迫っていこう。
 - ① クロス集計表やグラフをつくる
 - ② 何がわかるのか(事実)
 - ③ 「仮説」は正しいと言えるのか、即ち、解決策の論理的な「根拠」となったのか？
 - ④ さらに「提案」を補強することができるか
 - ⑤ (違った場合)なぜ違ったのか(想像)
 - ⑥ どのような「課題」が生まれたのか

3. 資料作成(1)

- スライドを作成する
(スライドの構成は、「**レポートの書き方**」参照)
- **「提案」を前面にし、その根拠を示す**とよい。例えば、
目的→**提案(仮説とその背景)**→手順→結果→考察
といった流れで根拠付けしていくと、わかりやすい。
- 調査時に行った、**相互評価の結果**を発表に生かすこと。
(**ポイントの低い項目を重点的に！！**)
- このあと、複数のスライドファイルや表計算ファイルを1つにまとめる方法を教えます。

3. 資料作成(2)

<注意事項>

- 共有フォルダーを有効利用する。
(「共通」→「情報の科学」→「アンケート調査」
→「(自分の組)」→「(自分の班)」
☆必ずマインドキュメントにもコピーしておく！！
- リーダーは効果的に仕事を割りふり、できるだけ時間内に終わらせること！！

4. 発表

- 発表は10班から逆順で行います。
(10班～6班:初日 5班～1班:2日目)
- 発表は質問(必ず受けること)時間込みで5分以内。
- 聞き手にとって最も適切だと思う人を発表者として選出する。メンバーが発表に協力しても可。ただし、何人かでマイクを回すような発表はマイナス評価。
- リハーサルが必要なグループは申し出る。
- データをグループフォルダーに入れておく。
- 発表は後ろのスクリーン、操作は前の教員卓になるので、発表の打ち合わせを十分にしておくこと。なお、スライドは後ろのスクリーンのみに表示されます。